



2019 新年度開講に際して

『個』への対応

公教育は、集団を一定の学力水準に引き上げるといふ使命を負うため、「集団」に焦点を合わせた教育を追求します。しかし、たとえばお父様・お母様は、決してわが子を「集団」の中の一人として見たりはしません。その視線は、必ずわが子のかけがえのない「個」に焦点を合わせ、その可能性を引き出すことに集中しているはず。eisuuの指導理念である「『個』への対応」とは、そうしたお父様・お母様と同じ視線、つまり子供たちの「個」に焦点を合わせた視線で教育を実践する姿勢のことです。

受験を通して人生を学ぶ

受験は、頭脳と心をとともに鍛錬できる、子供の成長を促す最高の機会です。だから、志望校合格に向けて一所懸命努力することは、いつの時代でも価値があります。そして、人としての実力を育める多彩な機会を創造し、共に切磋琢磨できる優れた環境の中で子供たちを育てることこそ教育の原点であり、「個」の可能性を開花させる最善の方法だと、eisuuは考えます。

新しい時代への変革

—「英語4技能」「思考力/判断力/表現力」、他—

時代は激しく変わり、子供たちに求められる学力も激しく変わっています。eisuuは時代に求められる教育を目指して、常に教育サービスのあり方を変革していきます。2019年は、英語4技能育成コンテンツ「セイン英語ジム」の刷新、中学本科の刷新、東進中学NETの刷新をはじめ、小1から高3まで細部にわたりコースを充実しました。これからもeisuuは、「個」の成長可能性に天井を設けない、先進的な教育を追求します。



成長を続ける子供たちにふさわしいよう、私たち社員も研鑽を続けています。

「日本教育士検定/全国名教師授業大会」

2018年5月27日(日)、日本各地を代表する塾からプロフェッショナル部門として約400名が参加しました。当日は選抜された精鋭教師約70名がエキスパート部門として東京の神田女学園に集い、「2018年 日本教育士検定/全国名教師授業大会」が開催されました。eisuuからも多くの教師が参加し、全員が資格を取得しました。次回2019年大会は5月26日(日)に東京で開催されます。eisuuは全国最高水準の教育を求めてこれからも研鑽を続けてまいります。



精鋭授業を披露した全国で6人の講師のうち一人、eisuu 国政明史



2019年大会運営委員長として挨拶する山本代表

eisuu 教育目標

「『個』への対応」を指導理念に、「小・中・高一貫指導体制」で社会に貢献できる「自立した人財」を育成する。

eisuu 55年構想

1. 学習環境 (H本→) 2. 能動学習 (H本→) 3. 実践英語 (H本→) 創立55周年を迎える2020年までのeisuuのミッションです。

「人生100年×AI」時代を生きるための「学び」とは？

No.1 教育改革の背景にあるもの

2021年から始まる新大学入試を中心に、日本の教育や受験事情は激しい変化と混乱のなかにある。しかし、これはただ子供たちだけに関係する出来事ではない。教育は社会の鏡であり、教育の変化を通して社会の本質に迫ることもできるはずだ。

三重県で半世紀以上にわたり民間教育を支えてきたeisuu groupの最高執行責任者を務める伊藤 奈緒さんは、こうした観点から塾生のご家庭を中心に継続的に情報発信を続けているというのを聞き、このたび話をうかがってみた。

AIが古い教育を壊し始めている

私たちの社会は、産業革命と言われる数度にわたる社会全体のイノベーションを通じて、劇的に変化してきました。19世紀に英国で起こった第一次・19世紀末から20世紀初頭の重工業を中心とする第二次・そして作業のオートメーション化を主体とする20世

紀中盤の第三次と、産業革命は私たちの肉体労働を劇的に軽減し、サービス業と頭脳労働の活躍する領域を拡大しました。このため大学教育が重視され、一世代に占める大学生の割合は拡大の一途をたどり、国の施策もあって四年制大学進学率は日本ではもう5割を超え、ついに頭打ちに達するに至りました。

しかしいま進行中の第四次産業革命は、これらとは根本的に性格が違います。AI(人工知能)の台頭が私たちの大半の頭脳労働を奪っていくとともに、ごく少数の、極めて高レベルの能力を持った人たちに仕事と富が集中していく流れを作り始めています。オックスフォード大学准教授M・オズボーン氏が2014年に発表した「雇用の未来」は、そうした現実を予言するものでした。「AI時代」の到来は、既存の大学教育の存在意義を根本から揺さぶり、人口に対して増えすぎた大学の淘汰を促すとともに、学びの仕組みの全面的変革を不可避にしているのです。

人生100年時代の到来

一方、医療の発達は人の寿命を伸ばし、これからは「人生100年時代」とも呼ぶ長寿社会に突入します。でもこれはそんな楽天的な話でもありません。人は、長い人生行路の中で激しく変化する社会に適応し続けざるを得ず、そのため長期にわたって働き続け、生涯にわたって学び続けなければならない、そういう大きな課題を負うことになるのです。

いま、国、文部科学省はもちろん、全国の大学はこの課題を鋭く意識し、危機感をもって改革を遂行しようとしています。一見、混沌と不透明さに溢れている入試制度改革も、そういう視点で見るときれいにその意味が読み解けていくものです。このたびはPlus三重財界様の紙面をお借りして、多少なりとも読者の皆様に有益なお話ができると幸いです。

(次号に続く)

PROFILE

eisuu COO(最高執行責任者) 伊藤 奈緒

三重県立津高等学校卒業、関西学院大学卒業。eisuu入社3年でトップ講師になった後、東進の映像授業を使った指導システムを確立し、2010年にeisuuCOOに就任。現在、三重大学大学院地域イノベーション学研究所博士課程在籍中。



eisuu 総本部
〒514-0006 三重県津市広明町337(津駅西口前)
TEL 059-227-6444 (代)
(TEL受付時間:月~土11:00~20:00/日10:00~18:00)

eisuu WEBサイト <http://www.eisuu.co.jp>
eisuu 検索

eisuu三重 facebook

eisuu高校部 LINE

新小学1・2・3・4・5・6年生 新中学1・2・3年生、新高校1・2・3年生 **2019「新入学生」申込受付中** **春期講習同時受付中**